第八號 No. 8 The Woman's Weekly December 24, 1915 (大正四年十二月廿四日)

(大正四年十一月四日第三種郵便物認可)

婦人週報

(毎週金曜日發行)

婦人週報 第壹卷 第八號

目次

半世紀の收穫……小橋三四子
時事一週評……
婦人問題と教育……川脇（主）
一人一評＝嘉悅孝子……
年越の苦勞……（若き主婦、
　茱婦人傳道者、卜部生、堀内ます子……
東京と大阪の氣風轉倒……沖野峯子
今年中の婦人の讃否……
東京市の結婚と離婚……
正月の氣分を出せ……小山正太郎
冬休と子供……松下專吉
種々な物を喰へ……篠田斬雲
冬と急性肺炎……ドクトル　有田九皐
正月のおにしめ……
オバナシ＝こそ〳〵話…巣鴨村人
子供の智慧……
金柑の家……松宮千以子
小說『奴隷』(完)……松本雲舟
ナターさん……阪東みちえ
時事、女學校たより、個人消息……
慰安錄＝二人の男に對して……
婦人の聲…暖房と腕押し、道後溫泉の女三助、少佐と兵卒……
新刊紹介…基督教十字架、靜坐三年……
編輯室より……

半世紀の收穫

今年の婦人界

△先覺者の功績

大正四年の婦人界は、宛然明治維新以來殆ど半世紀に亘る婦人の活動の收獲時の如く、極めて多端でありました。殊に御大典に際し、民間に於て敍勳の恩命を蒙りし數名の女史は、何れも我が婦人界の先覺者として、多年荊棘の道を開き、婦人の地位を高むるに預つて力ありしは云ふ迄もありません。この他隱れたる場所に於て、優るとも劣るまじき幾多の功勞を積まれたる我が婦人界の元勳に向つては、この際を機として、衷情よりの感謝を捧げたいと存じます。

△單調な活動

過る五十年の我が婦人界の收獲は、如何なるものでありましたらうか。男子が教育に、思想に、社會事業に、若しくは實業に功勞ありし廉を以て敍勳せられしに對し婦人の方面は皆一樣に教育に功勞ありし爲めの敍勳であるのを見ても、いまだわが婦人界の極めて單調であることを語るものでありますす。さりながら過る哺乳時代に於ては、教育に重きを置くは至當でありまして、此處に養はれたる婦人は、今後、漸く多岐に亘つて、活動せんとする傾向を示して居ります。

△外廓の改良

婦人矯風會が御大典紀念運動として、公會の席上に藝妓を侍せしめざる事、及び今後六年を期して公娼全廢を計る事といふ運動に就て、同會々員のめざましき活動は、社會が常に改革者に向つて放す嘲笑の中にも、大に輿論を喚起して參りました。同會が社會開拓に最も困難を覺ゆる制度上の改正に就て、常に大膽なる運動を試みらるゝは、大に注目に價する處であつて、今後必ずやこの系統によつて大にわが婦人界の外廓の改良が行はるゝであらうと望みを囑する者であります。

△外國への同情

昨秋よりわが貴婦人界に企てられた白耳義同情會は今夏殆ど五

所　東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
兼編輯人　小橋三四子　印刷人　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地
福音印刷合資會社東京支店

萬圓に近き寄附金を集め得て、白耳義の急を救ふ爲めに送られました。我が婦人界の事業は、從來多く外國の寄附金を仰いで居りまして、未だ甞て外國を助くる擧に出づる暇がありませんでした。白耳義同情會は日本婦人が外國を助けた誠に額もしい先例を開き、世界的の日本婦人に適はしき資格の一つを作つたものと云つてよいと存じます。今後わが婦人界も、單に國内の働らきに止らず、廣く外國に向つて、常に同情同感の通ふものとなりたいと存じます。

△經濟的に發展

花の日會が多くの婦人方に、公共の爲めに出で、働らく習慣と、一般の人々に慈善の爲めに幾何なりとも喜んで投ずる氣風とを鼓吹した功績も決して少くはありませんが、家庭製作品奬勵會が旗の日會を催して、婦人の内職をもつと組織的に奬勵しやうとする企ては、今後の社會に最も必要なことでありまして、わが婦人界が經濟的に發展せんとする原動力となるやうに、同會の自重を祈ります。

△思想の幼稚

最後に我が婦人の思想界は如何でありましたでせうか。この數年來平塚女史を中心として所謂新らしき女の叫び聲が高くありましたが、極めて主觀的な行き方に沒頭した爲めに、其の強い自覺と、努力との割合に、結果の平凡であつたのは、誠に惜しむべき事であります。明治の初年大和の山奥に發明の天才を持つた大工がありまして、多年工夫に工夫を凝らして、不完全な汽車の模型を發明しましたが、その時は、既に本物の汽車が、京濱の間には盛んに往來して居つたと云ふ事でありますが、所謂新らしき女の運命が、その大工に似て居るやうで、何となく悲哀を覺えます。

△基礎學の必要

これを以て見ても、從來の女子教育は、なほ女子の頭腦を開發するには足りませんでした。今後その教育を大に改め、確實なる基礎學を與へて、發展せんとする女子の頭腦を啓發する事は急務であつて、然らざれば心に自覺して、智識が伴はない爲めに、却つて天才ある者をも邪路に陷らしむる事が多からうと思はれます。今年を以て婦人界の一新紀元を劃するものとすれば、今後の婦人界は此の確實な智識教育に向つて、何よりも先づ進まなければならぬと存じます。（三四子）

時事週評

▲議會の紛擾　大隈首相に對して武藤代議士を始め、野黨の人達が暴行をしたといふので、それ〴〵懲罰に附せられました。武藤代議士に對して、其の選擧區から「深謝す」といふ電報が來たさうですが、多數黨の首相がいかに憎いとはいへ、老人で然も片足ない可憐い人に對して、少壯の者が手出しをするといふのは何事でせう。然も社會はそれを咎めず、其の暴行を深謝するに至つては、沙汰の限りです。若し大隈首相に惡い所があるならば、何故正々堂々と攻擊の矢を放たないのですか。

▲未成年禁酒法案　根本代議士の同案は酒飲黨の嘲笑を浴びたやうですが、同案は既に衆議院を通過して、幾度も貴族院の門を叩けるもの、グラッドストンの所謂權威ある案です。三回以上衆議院で可決した案は、最早同院の議案にのせずして、直に貴族院の議題に上すことが出來るやうにして貰ひたいものです。（十二月廿二日記）

新年に於ける本誌の發展

本月三十一日發行の本誌を繰りのべて正月元旦號となし、大に内容の充實を期さうと想ひます。雲舟氏の「何處へゆく」の全譯を元旦號より連載する筈ですが、そは必ず**愛讀者諸氏**の歡迎を受くべきは勿論、**驚異**の眼を以て一般讀書界から眺められるでありませう。其他東西の**名婦傳**をも掲載するつもりであります。婦人に關する研究と報道に於て、本誌に優るもののなきを一般社會に認められるのも遠くはございますまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人問題と教育

前行政裁判所長　山脇玄

△歐米婦人の歩いた道

私は此二三年以來、閑散の身となつたので、歐米に於ける婦人問題を研究したが、其結果是非とも我國婦人に聞いて貰はねばならぬ問題に逢着した。所謂婦人問題の第一は言ふまでもなく教育問題であるが、之は御承知の如く前世紀の中葉までは、歐米に於ても婦人は中等教育高等教育を受けられぬ狀態にあつた處、其頃より、社會の文明は男子のみに依つて出來たものではなくて婦人も男子同樣の貢獻をしてゐるのであるから、女子も男子と同じ教育を受ける權利があると云ふ樣な女子自らの切實な欲求によつて高等教育の門戸が開かれたのであつた。而して女子が高等教育を受ければ、其理想を實現せんが爲めに先づ經濟上の獨立を求むるに至るは自然の勢で、其結果は男子同樣社會の表面に立つて働く婦人が甚だ多くなつたのである。

△現制度と婦人參政論

然るに男子のみに依り制定された在來の法律制度は、女子が社會に立働く上に彼等に不便不利益の事が多いのは當然である。其處で女子も立法府に參與して法律制度の改良を圖らなければ女子が思ふ樣に働く事は出來ぬと云ふので、玆に婦人參政運動が生じた。其初めは極めて温和手段を用ゐてゐた同論者も、自らの主張が却々貫徹されぬと見て取つて、男子が參政權を得るに革命に依つた如く、婦人も亦非常手段を取るに至つた。英國に於て參政論の婦人が商店の窓ガラスを破つたり何か暴行を敢てするに至つたのも誠に止むを得ぬ爲めであつたのである。

△戰亂平定後と婦人參政

所が昨年以來歐洲大戰亂にて、英國の婦人は祖國の爲めに非常な働きを爲しつゝある。此は社會一般に認むる所であるから、大戰平定後になれば、彼國の婦人參政權は必ず與へられるだらうと思はれる。私は完全に一國を治め一國の富強を爲さんとせば、何うしても婦人の力を要する事と信ずる者であるから、婦人にも參政權は與へらるべきであると思ふ。

△職業問題と生活難

第二は婦人の職業問題である。西曆千七百年代より、蒸汽機械等の發明は、家庭内で婦人の從事した仕事を社會が奪ひ去つたので、中流以上の家庭の婦人は全く仕事が無くなつた。其結果は此等の婦人が教育其他社會的事業に働くに至り、其事業の種類は數へ切れぬ程に及んだ。第三の婦人問題は生活難である。之は我國も同じ事、中流以下の家庭では夫の收入だけでは生活が困難だから、妻も何等かの職業を持つて世中に働く場合が多くなつた。そこで女子の勞働時間だの賃金だのと色々の問題が出て來るのである。

△我國の女子高等教育

此の三つの婦人問題を通して我國の婦人界を顧ると甚だ寒心すべき狀態にある。我國は明治維新の際、總ての舊制度を廢して新制度を採つた。教育も其例にもれずして、早く女子にも高等教育を授け、今日では教育調査委員會が女子の大學入學を認めた位である。かく日本の女子は自ら求めずして高等教育の道を開かれたので、あるが、之は甚だ幸福の如く見えて實は不幸であつたかも知れぬ。何故なれば女子自らの止み難き要求もない頃他動的に高等教育の道が開かれたのであるから、之に對する趣味も薄く、眞劍に自己を教育しやうとする女子が甚だ尠ないからである。

△益々教育を要する我婦人

されば、今日に於ても歐米婦人の如く、社會や家庭における其位置を高めんとする眞面目な議論を、吾國婦人の何人からも聞く事が出來ない。之實に未だ〳〵吾國婦人の教育の程度が低いからである。何うしても女子は亦男子同樣大學教育まで修め、其丈の頭腦をつくらねば駄目である。我國に婦人參政の主張をする一人の女子なきは、一般婦人の教育が甚だ低い事を語るものである。女子の高等教育さへ完全に普及したならば、何うしても其處まで——婦人參政運動まで行かねばならぬ筈である。かくて男子は男子の領域を開拓し女子は女子自らの領域を開拓する事に依つて眞の文明は來るのであると信ずる。勿論それに到達

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

するのは前途遼遠と申さねばならぬ。

△無爲なる我婦人團體

次に文明の利器が家庭に於ける主婦の仕事を少くするので、中流以上の婦人は何か家庭以外に働きを見付ける、其結果社會に出で各種の事業に働くと云ふ事は、我國でも愛國婦人會、赤十字、其他の婦人團體等があつて形だけは幾分出來てゐる。けれども、其働きの内容に至つては、講師を聘して話を聞く位なもので、何も國家社會に盡す實がない。愛國婦人會の如きは大なる會員と資金とを有し乍ら、戰時に少しばかりの働きをする丈で平時は殆んど無爲であるのは甚だ遺憾としなければならぬ。殊に我國貴族の婦人の如く何等社會國家の爲めに盡す所なきものは自滅するより外に仕方があるまいと思ふ。貴族として尊敬される所以は英國あたりの如く、慈善事業等に働いて國家社會民人の爲めに盡せばこそである。

△世界に誇るは此一事

けれども吾國中流以下の婦人の働きは歐米にも見られぬ程大いなるもので、慥に世界に誇るに足るものがある。即ち全國職工の中、男工の六七割は女工である。紡績業などでは英國に於ては男工に對する女工の割合は六割であるが、我國では實に九割に上つてゐる。單に之丈を以てするも女子が我國産業に如何なる働を爲してゐるかを想像されるであらう。其他遞信事務に於ける女事務員の働き、我國最重要の國産たる生絲は女子の方が男子より多く働きつゝある。亦、頃日砲兵工廠の人に聞いた所に依れば、同工廠内に働く女子は千二百人に達し其成績は少しも男工に劣らぬばかりか、仕上を檢する仕事の如きは女子の力が遙かに成績がよいとの事である。されば將來は同工廠の職工の半數は女子として、一朝事ある場合には男子を戰場に送り盡しても、尚女子の手に依つて兵器彈藥等の製造に事缺かぬまでにして置きたいと云ふ事であつた。

△何を爲しつゝありや

所で、昨年來歐洲大戰に於て獨逸の丁年以上の男子は殆んど出征してゐるに、尚依然として獨國内の諸種の事業は繼續し、兵器彈藥兵糧の供給が絶えぬのは何人の力であるかと云へば、疑ひもなく平時より涵養し來れる獨國婦人の力である。英國婦人も亦義勇軍を組織するあり、最近アメリカでは婦人の國防同盟などまで出來て盛んに國家の爲めに盡しつゝある時、後進國とは云へ我國婦人は何を爲しつゝありや、何等の事業をも爲し得ぬ状態ではないか。男子の方は今度の戰亂で覺醒され我國工業の獨立に努めてゐる。飜つて女子の側を見れば何も爲して居らぬ。之れ教育の程度が低い爲である。婦人が社會に立つて働く腦力と體力が薄弱だからである。私は吾國婦人界の現状に鑑み、益々女子の高等教育の緊要なるを感ずるのである。

(一八一)評

嘉悦孝子

▲嘉悦さんは花の日の主唱者として、今年の婦人界における殊勳者の一人であらう。日本人は惡い習慣で新らしい一つの事業が起ると、必らずそれに難癖をつけたがる。反對する者は勿論の事、贊成する者でも心から贊成しない。いや〳〵でやつてゐる。名前は貸すが、手は貸さない。日本に新事業が起りにくいのは、かういふ習慣の然らしむる所である。極めて淡泊な心で、人に善事をなさしめる事が出來ぬのだ。善事ならば、誰が唱へ出しても差支へない筈だが、それを成功させると、なんだか其人だけ名聲を博して、自分が蹴落されたやうに感ずるのである。斯ういふ狹い根性の跋扈する内は、日本に大事業の起るわけがない。

▲かういふ日本人、殊に婦人界に於て花の日なるものを、あれだけに成功した主唱者達はどこか非凡なところがあるといつて差支へない。花の日がなかつた時と、出來上つた時とを較べれば、花の日の功績は直に解るわけである。斯る成功を收めえたのは、其の主唱者の中には、根強い、人から惡く言はれても決して屈しない、又他方には如才ない、圓轉滑達な精神が何處かに潛んでゐるのであらう。さう想ふと、どうしても嘉悦さんの姿が頭に浮んで來る。

▲嘉悦さんは實際獨身婦人には珍らしいほど如才ないさばけた人である。殊に若い人の心を捕へることが上手らしい。人に應接して快感を與へられる。人情の機微を摑むことが巧い。然も御自分は少しも物に拘泥せず、爲さんと欲する所を必らず成就する意氣がある。これが女子の商業教育に於て、又花の日會に於て嘉悦さんが成功した秘訣であらう。(くも)

年越の苦勞

どうしたら無事に年が越せるか

年末の苦しい私の經驗

若き主婦

△年の瀬の四苦八苦

私は家を持つてから、何時の暮でも樂々と年を越した事はありません。けれども私は債鬼が大嫌ひで、何うにかして總ての借務を果したいと、始めの年末には近所のお婆さんを頼んで、自分の衣類などを賣つて、辛くも年越をしましたが、翌年も同じく廻つて來た年の瀬、もう他人の手を借りてやる程上品振つてはゐられません。

△初めて質屋通ひ

主人は年始廻りもせねばなりませんから、主人のものは手をつける譯にゆかぬので、愈自分は丸裸になるつもりで、他所行の着物帶等を風呂敷に一包、ショールで深く顏をかくして、わざ／＼近所の質屋を通り越して、遠方の質屋の暖簾をくゞりました。入つて見ると暮の夜の事とて、客は數人待つて居ます。恥かしい眼を落つけて此等の人を見ますと何れも質屋の門などゝ入る人達とは思はれぬ立派なお髯の洋服姿や、二重廻しを着て銀ぶち眼鏡を光らした三十四五の紳士など、唯一人氣の毒さうなお婆さんが隅の方に小さくなつてゐた丈で、コートを着た奥樣と車夫につけられさうな婦人も居るではありませんか。

△愉快に正月を迎ふ

恁して漸く其年末の支拂を濟すと、持越す金は殆んどありません、それで正月を祝ふ事は出來ずとも借金がなくて氣持ちがよいと、其の正月を迎えましたが、其年の淋しい不景氣な氣分が、一年中付まとつてゐて實に不愉快でなりませんでした。それから、今日では年末の收支を豫め算用して二十圓なり三十圓なり足らぬ時は、出來る丈質屋へも走りますが、愈々足らぬ時は、日頃きちんと支拂つてゐる米屋だとか家賃の如うな大口の支拂を來春に延ばして小口の支拂丈は奇麗にすまし、そして相當に賑やかな正月を迎へる樣な準備をする事にしてゐます。

人のために質を入れる

某婦人傳道者

△老夫婦を救ふ

私は常に現金買をしてゐますので、僅かの收入ですが、年の暮といつても別に困つたことはありません。でも、或る年據所ないことで、一度質を入れた經驗がございます。それは私の極く親しくしてゐる老夫婦は、大變善い人なのですが、どうも經濟が下手なので、四五十圓なければ、年を越すことが出來ないといふ窮境に陷りましたのです。それを私に打明けられたのが、暮の三十日です。いかにも氣の毒なので、どうか仕てやりたいと思ひましたが、勿論私の手許にそれだけの金はありません。知人に借りることは出來ますが、それでは其金の入る譯を話さねばならぬ。さうすれば老夫婦を不評判にするやうなものですから、どうかして人知れず金を作りたいと心がけて、質を置くことにしました。恁ういふ場合に質を置くことは罪惡ではないと思つたからです。

△普段着て寫眞をとる

三十日の夜晩く、俥に乘つて自分の衣物をあらひざらい持つて行つて漸くそれだけの金を老夫婦に渡して、ほつと安心致しました。正月三日間は普段着のまゝ、家へ引込んで御年始廻りにも出ずにゐましたが、一番困つたのは、其の老夫婦の娘さん達が遊びに來て一緒に寫眞を撮うと申します。私は承知して、普段着のまゝ出かけやうとしますと、其の娘さんは、私に「着物を御きかへなさい」と勸めます。私は、なにこれで澤山ですと言つても、「見つともないから」と言つて、中々聽き入れてくれません。けれど着かへる衣物は勿論ありませんから、遂に我を押し通して、普段着のまゝ寫眞を撮りました。これが私の唯一の年末やりくり話です。

先生の教訓

卜部生

△質を入れる勿れ

私と貧乏とは腐れ縁があつて、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誠に困りますが、私はどんなに困る時でも、決して質を入れません。それは私の崇拜する先生が嘗て私に向ひ「困る時でも質を入れるものではない、それよりも潔く賣つてしまへ。利息を拂つて質を出すよりも、入る時には又買つた方が善い」と申されましたので、私はそれを金科玉條と守つてゐます。或る時先生を訪ねて「私は、今でも先生の御言葉通り、質を入れずに、賣喰ひをしてゐます」といふと、先生は「うん、さうか」と言はれました。

△ビリケン以上の福の神

私の財布がいつも空なのに反對して、私の友人の三松俊平君はいつでも金を持つてゐない事はありません。君はどうしていつも金を持つてゐるのかと尋ねると、三松君は「使はないからだ」と答へました。使はないから、いつも金が有る。これは當然の事ですが、中々出來ないことです。三松君は自分では金を使はないが、人にはよく御馳走する。金を貸して倒される事もある。それだのに僅かの收入で、常に窮しない所は、ビリケン以上の福の神と申せませう？

年越の便法

堀内ます子

△現金に支拂ふ

私が日頃實行して居ることは、通ひ帳を用ひないことです。隨分用事のある時や、或は出掛の時などには面倒だと思ひますが、通ひにつけさせ初めますと、逐々そんなに必要もない澤山のものを買ひ込み又或時は商人か間違つて、取らないものまで附けて行く事もありますから、經濟上非常に無駄が多いので、毎日の買物は必らず現金買ひと云ふ事にきめて居ります。ですから常に留守勝ちに致して居りましても、掛け取りが來る心配もなければ、月末だからと申しても、日常と同じやうな心地で居ることが出來ます。

△買物は出かけて

も一つは近頃經驗致して居ることですが、買物は出來るだけ出掛つて行つてするのが一番經濟です。初めは店先きに立つて買ふことが嫌でしたが、勉めて自分で買物に出て參ゐりますと、たとひ些のものでも新らしい物や氣に入つたものがありますので、都台がいゝやうです。其故今では安くて品が好い物があれば、少し位ゐ遠方でも出掛て行つては求めて居ります。

東京市の質屋

△質屋と質入の數

東京の質屋は、上下を通じて最も便利なる金融機關たるの觀があります。隨分立派な人までが質屋の暖簾を平氣でくゞります。されば東京の質屋は實に一千二百七十戸にも上り、一ヶ年に出入する質物の口數は八百六十七萬口、其金高實に千八百六十七萬圓に達します。大正三年の年末は六百三十五萬千三百十七圓の品物が質屋さんの土藏の中で年越しをしたのですが、之を其當時の東京市民全體に割當てゝ見ると生れたばかりの赤ん坊から、今度天盃を頂戴した高齢者まで、光榮ある東京市民は一人殘らず平均三圓二錢四厘の質入れをしてゐるやうな譯合であります。今年とて之と大差はありますまい。

△質屋の多い區

扨て全市を通じて最も質屋の多いのは本所區の百六十戸を筆頭に淺草區の百三十七戸、神田區の百三十六戸で、最も少ないのは赤坂區の二十七戸、麹町區の二十九戸、四谷區の三十八戸などです。年末に質物の多いのは神田區第一で、赤坂が一番少ない、そして本所淺草等は貧しい人が多いから二三十錢の小口からあるので、其口數に於ては本所が第一で、四十四萬口淺草が四十一萬と云ふ驚くべき口數に達してゐます。赤坂區は質屋の數も入質金高も少いと同樣其口數も最も尠ないが之は同區には官吏會社員等の中での有福なものが多く住居してゐて經濟上の變動の烈しい商人などが尠ない爲めでありませう。神田區は學生の入質するものが多いのと職人も多いので質屋の數も質物も多いのだと思はれます。

△質の流れの數

此質の流れが柳原や日影町にブラ下つてゐる事は讀者の御存じの通りですが、流質は何の位あるものかと調べて見ますと、大正三年中に百三十八萬五十六口、其金高二百五十二萬八千七百五十九圓で、流質の多いのは本所區の二十一萬五千餘口其金高二十九萬九千九十圓を最高として、次が淺草區の十七萬六千二百九十七口、二十九萬八千九百六十一圓で、最も少ないのは麻布區の三萬三千二百八十一口、四萬八千七百七十六圓です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京と大阪の氣風轉倒

工學博士夫人　沖野筆子

△東京の輕薄な空氣

私は二十年間東京に在住し、其の後二十年大阪に住ひ、五年前再び東京に歸つて見ますと、東京の風の一變して居るのに、驚くの外ありません。東京には今や淸廉な氣慨のある江戶つ兒氣質は全く後を絕ち、成るべく體裁のよい事を云つて、利益を貪らうとする利己的な輕薄な空氣が瀰漫して居ります。一例を申しますと、もとは出入の魚屋、八百屋等でも二三年取付けにして居りますと、或る時は「この品は餘りよくはありませんから、お値段を引いて置きます」とか、「これよりもこちらの方がお德用です」とか、親切に敎へてくれましたが、此の頃では何年馴染になつても、成るべく高く賣り付けてやらうと云ふ事斗り考へて居りますので、一向信用が置けず、從つて一人の出入では間に合はず、二三人競爭さして入れさすといふ有樣です。

△大阪に美風が移る

これは私共が大阪に參りたてに同樣に感じた事で、大阪の商人はどうも油斷がならぬ、素人と見れば騙す事斗り考へて居ると感じましたが、其後同地の商人氣質は次第に進步して、商賣に勉强する處から、自然確實な低廉な品を供給するやうになつて參りました。

この一事を以て見ますと、今日の東京は或は昔の關西の惡い風計り移して、善い氣風を失つて終つたのではなからうかと、誠に殘念な事に思はれます。關西はこれに反して元來の根强い氣質の上に、日に日に勤勉、正直等の美風が加はつて參るやうです。

△關西人に笑はる

衣服等でも江戶つ兒は木綿の表に、裏を絹にするといふのが自慢で、畢竟底光りがするといふ處に價値があつたのですが、此の頃では關西の人が「東京に行つたら、皆ピカピカ物を着て居るが、よく見ると安物計りだ」と申して居つて、却つて關西人が澁い地質の善い物を着るやうになつて居ります。かやうな事は變遷の一端ですが、それ等の事實を公平に見ますと、文明は次第に西に移つて行くといふ事も思ひ合はされて、面白い人文史上の研究資料になりはしなからうかと思はれます。

今年中の婦人の讀書

眞面目な學生と新らしがる婦人

本年婦人の讀書界の一端を知る爲めに、婦人閲覽者の最も多い日比谷圖書館と大橋圖書館について婦人讀書の傾向を聞きました。

▽日比谷圖書館

日比谷圖書館には毎日平均十人から二十人位の婦人閲覽者がありました。土曜日には三十人位に上ります。閲覽者は眞面目な研究的な婦人と、新しがるばかりで薩張り勉强しない婦人とに、はつきりと區別する事が出來ます。眞面目な方は醫學産婆等の受驗者だの學生中での研究家で、無暗に新しがつて、其筆跡を見れば、こんな字を書く人が、あんな飜譯書など判るかしらと思はれる樣なのも少くないさうです。同館に來る女學生の多くは女子英學塾と女子大學校の生徒で、官公立學校の生徒は殆んど稀ださうです。之は官立學校では專ら敎科書に重きを置くため、生徒も敎科書以外に出づる餘裕がないからだらうと云ふ訳です。私學は自由だけに、自發的に智識を求める女學生を有するものと思はれます。そして女子英學塾の生徒は多く原書

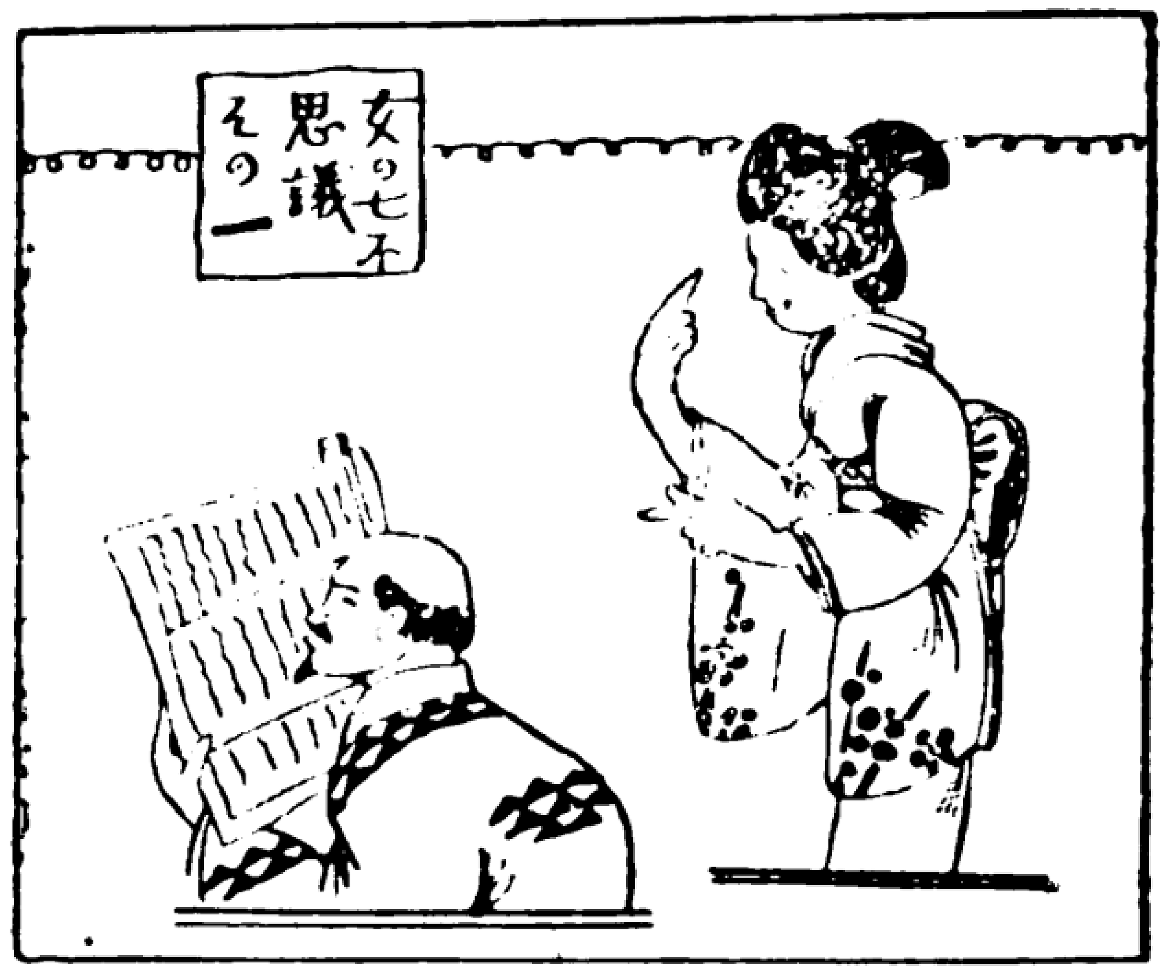
婦人の七不思議

男子の中には老人は云ふまでもありませんが、まだそんなお年でもないのに、まあ綺麗に頭の禿げた方がよくありますが、不思議にも同じ人間でありながら婦人の方には、殆んどお見受けする事はありません、まさか生れながらにして毛生藥をお用ひになる樣でもありますまいが、若い方ばかりではなく隨分の年寄りにも禿頭の方を見ることのないのは女の不思議の一つと云つてもよろしからう。御主人の方は年々美しく禿げて行くのに、同じやうに年を老つて行く奥樣の髮は何時迄立つても黑々と濡形を保つて居られます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を繙き、女子大學校の生徒は卒業論文の參考にでもするらしい社會問題救濟問題など六ケしい物を調べる婦人が多いのは一寸目に立ちます。

全體から見ると婦人の閲覽者はだん〳〵增し、そして眞面目になります。雜誌類は相變らずよく讀まれてゐます、少年少女の方は今秋から一錢の料金を廢して無料閲覽を許す事になつたので、大へん繁昌してゐます。困つた事には少女達はどうもセンチメンタルな



悲哀なものばかりを好んで、科學的なしつかりしたものは讀まれません。

今年最も多く讀まれたものは男女を通じて、南洋諸島巡行記、西洋史講話、黒い眼と茶色の眼、等で何れも三百回以上讀まれました。婦人だけで言ふと、黒い眼と茶色の眼を始め德富蘆花のもの、樗牛全集、三宅博士の世の中など、これに、次ぎ福來博士の心理學、箕作博士の西洋史講話等も盛んに讀まれた方です。

△大橋圖書館

大橋圖書館の婦人室は定員二十四人で、毎日十名以上の閲覽者があります。左に一月から十二月までの婦人閲覽の統計を上げます。

一月	四七九	七月	七二一
二月	五五八	八月	四八七
三月	九一五	九月	五二七
四月	五六九	十月	五八一
五月	七一二	十一月	四〇四
六月	五九四	十二月	約三〇〇

合計六千八百四十七人

右の中十二月は豫想數です。一月は開館日數が廿五日間なのと、八月は暑中休暇中なので閲覽人が尠ない。三月と七月とは試驗時季なので最も多數に上ります。十一月は御大典の爲め、十二月は年末の爲めずつと閲覽人が減少したのでした。

東京市民の結婚と離婚

離婚の割が多い

東京市統計係に就て本年に於ける婚姻及び離婚の數を訊きました。此統計は東京市に本籍を有するものゝ婚姻と離婚だけですから實際東京市中で行はれる婚姻及離婚は此倍數位あるものと見てよいとの事です。而して目下の處では一月より九月まで統計に上り居り其以後はまだ判りませぬ。

△婚姻數の比較

先づ婚姻の方の前年との比較を示します。

	大正四年	同三年	增、減
一月	八八八	九二一	△三三
二月	一、四三八	一、一二六	○三一二
三月	一、六二七	一、三五八	○二六九
四月	一、二二五	一、一二〇	○一〇五
五月	一、一七一	九六三	○二〇八
六月	九二三	九九三	△七〇
七月	七八二	七三〇	○五二
八月	七七六	一、〇〇八	△二三二
九月	一、〇一四	一、二五〇	△二三六
十月	——	一、〇五六	——
十一月	——	九二〇	——
十二月	——	一、二一四	——
合計	——	一二、六五九	○三七五

○は大正四年に於て增加△は減少を示す

右の如く本年と昨年とを比較すると春の方が增し、秋には減じてゐます。然し乍ら十月以後が最も婚姻の多い季節ですから大勢は此統計が出來てから定めらるべきでせう。そして本年は御大典前後に於て婚姻したものが多かつた樣ですから尙更さうですが、大體一月から九月までの比較では本年の方が三百七十五人增してゐるのです。十二月までの統計がとれたら慥かに餘程昨年よりは增してゐる事と思はれます。

△離婚數の比較

	大正四年	大正三年	增、減
一月	一二三	一〇〇	○二三
二月	一八二	一三一	○五一
三月	一八九	一六七	○二二
四月	一九一	一五二	○三九
五月	一五九	一六七	△八
六月	二〇二	一五二	○五〇
七月	一五八	一二六	○三二
八月	一四八	一五六	△八
九月	一七三	一七三	——
十月	——	一八三	——
十一月	——	一六三	——
十二月	——	一六四	——
合計	——	一、八三四	○二〇一

右の如く離婚數も前年よりは增加してゐます。其割合は結婚の增加割合に比して遙かに多いのは矢張り不景氣の爲めであらうと思はれます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初春の氣分を出せ

奥床しい正月の諸飾り

文部省美術展覧會審査員　小山正太郎

△大きなお供へ

昔は正月の床間には上は大名から、下は町家農家に至るまで、等しく大きなお供へを飾つたもので、たゞその大小によりて身分を分つた位ゐのものでした。而し現今は全く其の風習が一變して、町家ならば店頭の飾りものとなり、その外では玄關とか食堂とか云ふ處に供へつて、中流以上の家庭では全く座敷の床の間には飾らないやうになつたのです。

△掛物と花

然らば床間は如何に飾るべきかと云ふことになるのですが、これは普通には掛物に生花を配置するのが例であります。中には花を床側に置て床には芽出度い置物を飾ることもありますが、先づ一般としては前者の方でせう。それで研究すべき點は、掛物と花です。掛物に芽出度い圖柄のものを掛けて花はたゞ美と云ふばかりで、意味の無いものを活けて居る處が多いが、充分の望みを申しますと調和を取る、即ち趣味を生ずる樣にしたいものです。これは多忙な主人が工夫したり、研究したりして居る事は不可能ですから、主婦が是非注意して心掛けなければならない事だろうと思ひます。私共もよく他人の家を訪問して、そこの夫人の人格が偲ばれるやうな事もございました。

△奥床しい床の間

私のお話はあまりに文人地味て居て通俗で無いかも知れませんが私がこれ迄見た中で、只今記憶に殘つて居ります面白い二三の例を擧げて、御參考に供し度いと存じます。或る謠曲の好きな老人の閑居を訪ねました時に、四疊半の座敷に通されました。そこには三尺の床間がありまして、極めて窮屈な狹い處でしたが、掛花活けに床板にとゞく程長い柳の枝が、四五本投げ込んでありました。而して床には誰やらの草書の一絶を書き流した、細い茶掛のやうな一幅が掛けられて居ました。其の詩の上二句は忘れましたが下の二句は「待春多少園中樹、先受東風獨此枝」と申すのでした。私はこの句を讀で、未だ冬枯れの窓外に比して、この狹い室内だけに何となく春風が通つて居るやうな氣が致しました。そして其の老人は私に、また極めて小さな器を以つて屠蘇を進めて呉れました。決して費用を掛けてしたわざとらしい處が見えなくて、趣味的な飾り方だと愉快に感じられました。

△玄關の飾り

これは西京の或る旅店に宿りました時の事でしたが、床間で無く玄關の飾りつけでしたが、大きな瓶に黑松の枝に鼠色の苔が一面についた、古びた面白い枝を思ひきつて下に垂げて、斜目に活け、その後に金屏風へ波に太陽を書いたのが立てゝありました。如何にも晴々として元旦の氣分が漂つて居るやうな、暢したおもゝちがありました。氣がつかなければ其れ迄ですが、よく氣をつけて見ますと其の主人の工夫せられた跡が見えてゆかしく思はれました。全體松の中でも黑松は海岸のもので、昔から白砂青松などゝ申して居りますものは、皆此の黑松の事ですから、背景には是非海に限るのです。山水の幅の前に黑松を活けたなどは感心致しません。これに反して赤松は山でなくてはならないのです。或る詩人の家を訪ねた時に丁度赤松のヒヨロ〳〵枝を延ばしたものが、三四本かためて植ゑてある盆栽を、床の少し右の方に寄せて、掛物は田崎草雲の春山晩靄の圖でありましたが、これ等もよく松の趣きを解して居る人の仕事と感心しました。

△床の間全體が梅林

春の活花には梅、南天、水仙、萬兩であるとか、鉢物等には福壽草が多く用ひられるやうですが、梅を活けるのには梅に適するやうな幅が欲しいのです。嘗て長三洲といふ人の處へ行つた時、耕石の梅花書屋の大幅を掛けて、その前に大きな銅瓶に梅の枝が投げ込でありました、何となく掛物の中から梅の香が來るやうで、床の間全體を梅林にしたやうな氣持ちがして、面白く感じた事がありました。要するに花と掛物との聯絡を工夫し、もしも持ち合せのもので調和が取れなければ、少なくとも齟

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

飾しない様に、或は反對しないやうに注意することが必要です。

△不調和ては困る

水仙等は淸い靜かな花ですから賑かな床間には適しません。一度某將軍の宅を訪ねました時、床間にお供への大いのや昆布、海老等を飾つて、これと並べて水仙の花が竹の筒に活けてありました。いづれお供へは將軍の考へで、活花は夫人の趣味であつたでせうが、かう並べられましては實に閉口します。反つて花が無い方がいゝのです。

冬休と子供

本郷小學校長　松下專吉

△子供が粗末にされる

年末の家庭は、一年中のしめくゝり及び新らしき年を迎へる爲めの用意で、非常に多忙を極めるために、大切な子供の始末に就ては啻に怠り勝ちであると云ふばかりで無く、非常に粗末にされがちな時なのです。子供は忙しい家庭にあつて、學課の復習も出來ず、有益に遊ぶ事も出來なくて、そして家庭の人達からは邪魔がられて、通らなければならないといふ事は甚だ子女に取つては氣の毒な事だと申さなければなりません。

△學校と家庭と

學校では年に夏冬の休みを設けて置きますが、この休暇を子女に全く遊び暮らさせる積りで設けてあるのでは無くつまり日頃教へた事をこの休暇の間に應用して、そして實地に稽古させもつと家庭的の知識を養成させる機會として用ひ度いと思つて居るのです。尤も近頃は學校と家庭とが、追々に接近して參りましたし、また家庭に於ても中々兒童教育に注意もして居らるゝやうですから、中には休暇等も私共の思つて居るやうに利用して下さる處もありますが、それも主に夏期休暇の方で、今度の休みは一概にも申されませんが前述のやうなのが多いやうに思はれます。

△一年の整理をさせよ

そこで私が家庭に對して是非お願ひし度いと思つて居りますことは家庭に於て一年中の整理を行ふと同時に、子女に對しても是非今年の整理を行つて頂き度いと云ふ事です。それは學校の休暇になつた時でも、或はもつと末でもいゝでせうが、兎に角一度年內に於ける子女の成績を、通信簿なり成績品なりで調べて、其の結果によつては相當に賞與するとか、或は注意を與へるとかして、子女に責任の念を一層深くさせることを勉めて戴き度いと思ひます。

△實業に又儉約に

次には當今學校でよく話して聞かせて居りますことは、目下世界の各國も戰時狀態にあるのであるから、我々もよく職務を忠實にして儉約しなければならないといふことです。ですから家庭に於てもさう云ふ考へを以つて大に勤儉の美風を養ひ、尚ほ通學中の規律、習慣等をくづさないやうに、一定の復習時間割を設けて、無理のない範圍に修業させるとも必要です。

△家事の見習

第三はこの機を利用して、家事の見習ひをさせて戴き度いと存じます。而し幼少の子供の事ですから、それに相當した仕事を持たせて戴かなければ、切角の家事練習も其の功を擧げないのみならず、無理な仕事の爲めに健康を損うに至つては、甚だ遺憾に存じます。ですからこれも子供が進んでする程度のもので或る程度迄はやはり御兩親なり御兄姉なりの御注意を願はなければなりません。

△最も大切な新學期

夏期休暇に比しますと、三分の一にも足りない短かい冬期休暇であるにもかゝはらず、この休暇は一般に遊びくせが付き安い時ですから、正月に入つても適當な仕事即ち多少字の書けるものには練習させて、年賀狀を書かせるとか、挨拶の出來るものには年賀の挨拶に廻らせるとか、家庭には細かい色々な仕事がございませうから、その兒童に適したものを一つ持たせて戴き度いと存じます。

最後に御注意申し上げ度いのは身體の衞生です。これは誰でも申しますことで、最も出來にくい事だろうと存じます。事新らしく述べたてる必要もございますまいが出來るだけ過食させないやうに、そして戶外の運動を常よりも奬勵して、成る可く室內の遊戲にふけらせないやうに呉々もお願ひ致し度いのです。

そして一學年中最も大切な第三學期を迎へる爲めの用意を充分にして、休暇後と云ふだれた氣分がなくて新學期に入るやうに注意して戴き度いと存じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

種々な物を喰へ

余が養生法（承前）

薄田斬雲

△何が滋養物か

「天下滋養物多し」とも申しませうか、殊に此頃は滋養物騒ぎが大きくなつて、やれ牛蒡が滋養物だ、蓮根が滋養物だ、など、云ます。だが今日我々の食物は凡て滋養物で、しかも各々異る價値を有つて居る譯です。試みに三才圖會とか云ふ本を披いて御覧なさい、一木一草、必ず何等か特有の功能を有つて居るのです、唯だ一種にして有ゆる滋養成分を具備して居る物は無さそうです。牛蒡には牛蒡特有の滋養分があり牛肉には牛肉特有の滋養分があるでせう。人參が精力を盛んにするからとて、動物園の猿の様に毎日三食人參ばかり食はふものなら、猿の様な赤い梅干面の多淫な相好になつて見つともなさの限りになるかも知れません。

△いかもの食ひになれ

私の考では嫌いでない限り、何んでも食ふ事が一番養生法に合つて居ると思ひます。然うすると有らゆる成分を身體に攝取し得る事になります。養生法は身體の調和に重きを置くので、偏つた食物を取ると、體質も偏り、從つて頭腦も偏ります。或るお醫者さんに私は問ふて『山在の百姓は日々三度黑い飯と漬物ばかり食ふが、あれはどんなものか』と言ひますと、『何時も同じものばかり食ふ百姓は頭腦が遲鈍になつて改良進歩と云ふ事を考へず、一種の低腦兒になる、頭腦を活かす文明人は常に異つた物を食ひ、七味の調和を得て腦味噌を日々洗濯し日々之れを新たならしむる必要がある』と說明しました。私は此說一理ありと悟り其後は愈よいかもの食ひになりました。江戸ッ子さんの様に食はず嫌ひが多く、煮豆と豆腐と香の物と鹽鮭ばかり食ふ樣では、退化して古ぼけた人間になつて了ひます。今日江戸ッ子位融通の利かない舊弊な人間はありません。都會人は退化し、田舎者が向ふ見ずに猛進して改良進歩の原動力となるのです。

△好きな様に料理して食へ

卵は生が好い、豆腐は湯豆腐に限るなど、言ひますが、併し生卵を好まぬ人が、厭や〱ながら目を眠つて生卵をペロリと嚥下した所で却て身にならずに毒になります。私の胃は特に卵と豆腐に就て一種の奇怪な作用を呈するので、此に卵と豆腐の事を一例に持出したのです、一體胃擴張兼ね鹽酸過多症と云ふのは日本人に共通な病だそうで、昔から溜飲と名けて居ます、溜飲にはグチャ〱した水ぽい物がどうも食つた後の具合が惡い、で私は生卵を飲むと腹が重つとして膠の汁でも飲んだ様な重苦しさを感ずるのです、又豆腐を食ふと必ずゲプ〱して胸がやける程不消化だと言ひますが、私の自覺によれば、卵は能く煎つたのが一番胃の具合が好く、又豆腐は煎り豆腐にしたのが食つた後の氣持が好いのです、此頃では豆腐は煎り豆腐の他は食ふ氣になれません。可しや其れが胃腸を素通りして排泄されるにしても、私は生卵や湯豆腐よりは煎り卵煎り豆腐を食はふと思ふのです。食つた後で具合が惡いと思ふと毒を食つたも同じ事です。こんな様な例は各人各自に有る事と思ひます、可し夫れが滋養品にならなくとも嗜好品として一種の營養價値を有する事になるでせう。

△餅腹、蕎麥腹

此の例は他にもあります、普通の飯を餘り多く食はない人が、餅なら幾らでも食へる。そして更に胃が苦まない、又蕎麥なら幾つでも食へて後で胃が苦しまない。こんなのを餅腹とか蕎麥腹とか言つて重寶なものに言ひ囃します、が、こんな人に取つて其の餅や蕎麥が第一の嗜好品であると同時に第一の滋養物なのでせう。何も滋養物は牛乳、卵、牛肉、刺身に限りません。或人々は黃な粉は第一の滋養物であり、或は納豆が第一の滋養物であつたりします。個人々々に面貌が異る如く精神作用が異り、嗜好が異り又同時に滋養物が異るので、化學的成分の意味か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら今日の醫者が指定する滋養物なるものは、一の抽象假定に過ぎません、之は唯だ大まかな見當を示す丈けで、自分自身に取つての滋養物は自分自身に探り當てる外はないのです。世間を標準にして高價な物ばかり、滋養品と考へるのは愚かな事です。胃腸病院に通つて癒らない病人が石塚左玄氏の食療病院へ通つて鰤鮭や目ざしや天ぷらを食つて全快したなど云ふ例もあります。一切己れを以て尺度とせよ、世間の例を以て我身を律せんとする時、人は馬鹿になるのです。人間は凡て哲學者でなければなりません、哲學者とは習慣に囚はざる自然の眼光を開く事です。

冬と急性肺炎

ドクトル　有田九皐

△怖るべき流行病

冬期は急性肺炎流行の秋です。其の主なる徴候は俄に惡寒戰慄を以て始まり、次に發熱し、咳嗽起り、胸部に疼痛を覺え、遂に鏽色を帶びたる喀痰を見るに至ります。而して肺臟の充血及び稽留性の高熱は遂に極度まで心臟を衰弱させる怖れがあります。世には非衞生的飲食物を攝取し、随分放埒なる生活をなみ、日々天賦の健康を消費しつゝあるにも拘はらず、天性甚だ強健にして急性肺炎の如き傳染病には感染しないといふ人が尠くありませんが、私共の實驗する所によれば、斯る健康を誇る人達も自然に身體の抵抗力を減殺せしめて、急性肺炎菌の犧牲となる者が稀れではありません。

△新しき空氣療法

近來は在來の治療法を止めて、戸外に附屬せる廊下或は屋上の如き新鮮なる空氣の流通宜しき場所に、僅か風雨を凌ぐに足るほどの裝置をなし、其處に患者を收容させて非常なる好果を收ることが出來るやうになりました。或病院の成績を聽くに、五十六名の患者に對し、藥劑は單に二三の下劑を用ひた丈けで、死亡者は一名もなかつたさうです。在來の治療法を施し、身體自然の機能を傷害する種々なる藥劑を用ひて、十五乃至二十五プロセントの死亡者を出すに比すれば、寧ろ驚くべき好成績であります。但し殊に身體の一部分を寒風に曝露するのは、時に急性肺炎の誘引ともなるべき感冒に罹り易きことを忘れてはなりません。

△酒精と肺炎療法

米國の或醫科大學で二つの兎に肺炎菌を移植して、本病と亞兒個保兒との關係を研究した結果によると、一兎（甲）は酒精劑を與へて、普通本病患者を取扱ふ如くに治療しましたが遂に斃れました。他の一兎（乙）に對しては、舊式療法を施さず、唯新鮮なる空氣中に放養しましたが、間もなく健康に復しました。乙兎の血液一滴を取りて檢せしに、其血液中の白血球は多數の肺炎菌を捕獲してゐました。此の白血球は自然の巧妙なる保護力と醫治力を持つてゐるのです。然るに甲兎の血液中には白血球が肺炎菌を食してゐませんでした。これに依つて見ても酒精は唯だ肺炎治療に効力なきのみならず、身體に無益有害な事が解ります。

正月のおにしめ

△數の子の漬け方

數の子は水へ漬けて、柔かくなりましたらば程よく切つて、一單鹽でよくもんで、更に沸え湯で洗つて水に取り、二三日前から上等の醬油へ漬けて置きます。花松魚節はお客樣に出す時に掛けて出します。

△金平午旁

よくそぎ午旁を用ひますが、實は午旁の皮を取つて一寸位ゐに切り、それを縱に薄く庖刀を入れてまた千六本のやうに切るのです。水に入れて灰を取つて、油でいためて砂糖と醬油と味淋を入れて、輝の上るやうに煮るのです。

△輝ごまめ

中位のごまめをよく洗つて、水氣を取つて煎つて後、輝の鍋に入れてよく煎るのです。輝の製作は本誌第六號を御參照下さい。

△煮　豆

黑豆は味つけする前に、湯煮をいたします。この中へ勝ち栗、氷こんにやくの短冊切を入れるのです。美しい豆の色を出しますには先づ砂糖と鹽とで煮るのがよろしい。中に這入るものを別々に煮て後に交せますと、小奇麗に行きます。ちよろりは配台上入るのですからどちらでもよろしい。

△鮭の漬け方

早漬けの法としては、麴を甘酒のもとに作つて、これに鮭の切身を二三日前に漬け込めばお甘うございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こそこそ話

巣鴨村人

皆さん、私の言ふことをごうして聴きませんか」

學校の先生は怒り出しました。生徒が勉強しないので、腹を立てました。先生が背後を向くと、すぐこそ／＼喋舌るのですから、先生の怒るのも無理はありません。

「女生もこそ／＼言ふのを止めなさい」

でも、こそ／＼は尚止みませんので、先生は一策を案じました。

「皆さん、新らしい遊戯をこれから始めませう。こそ／＼話した者は誰でも、教場の眞中に立たせます。そして又他にこそ／＼話した者を見つけるまで立つてゐなさい。若し見つけたら、私に其の人の名をいつて下さい。其の人は教場の眞中へ出て立つてゐて、次に又こそ／＼話す者を見つけて下さい。この遊戯は學校の退ける時まで致します。一番最後に立たせられる者は男生でも女生でも、皆さん一同の代りに罰することに致します」

「どんな罰ですか、先生」と腕白な子供が言ひました。

「鞭で打ちます」と先生が言ひました。

子供達は新しい遊戯が面白いやうな氣がしました。先づ第一に、富雄は美郎にこそ／＼話しかけましたので、教場に立たせられました。二分間も立たぬ内に、富雄は花子がこそ／＼言ふのを見い出しましたので、花子が立たせられました。花子がぐる／＼見てゐると、三郎が鉛筆を貸してくれと隣りの生徒に言ひましたので、三郎が呼ばれました。かやうにして遊戯は學校が退けるまで、もう十分間しかないといふ時まで續きました。一番最後に立ちたくないものだから皆眞面目に氣をつけてゐました。其の内に時計がちん／＼と鳴りました。四度目に立たされた美郎は氣が氣でないのでした。右の足で立つたり、左の足で起つたりして氣をつけてゐましたが、誰もこそ／＼やりません。あゝ鞭で打たれねばならぬのか。

突然小さなルリ子が机によりかゝつて前の席の女の子に話しかけましたので、美郎は大喜びでした。ルリ子は學校中の評判娘で、誰にでも可愛がられてゐまして、こそ／＼話しなどはあまり仕たことがないのでした。でも美郎は、それにはかまはず、罰を免れたいばかりに、「丸木ルリさん」と呼んで、さも得意らしく自分の席に戻りました。

小さなルリ子はこそ／＼いふつもりではなく、家に歸る前に何か用事があつたので、想はず机によりかゝつて、二言三言口を利いたのですが、仕方なく、眼に涙を浮べて、こそ／＼の席に立ちました。

ルリ子は學校で初めてこんな事になつたので、大變氣まり惡く思ひました。他の女生も氣の毒に思ひました。男生も、ルリ子を眺めて、先生が言葉通りルリ子を鞭で打つだらうかと訝りました。

時計はちく／＼いつて、學校の退ける鐘が鳴るまで、もう一分間しかありませんでした。可愛らしい靜かなルリ子が腕白な男生やお轉婆な女生の代りに罰せられるのは、いかにも氣の毒でした。所で先生の机の前に坐つてゐた無作法な大きな男生がくるりと向き直つて、三つ机をへだてた美郎に話しかけました。

生徒は一同に其の男の兒を見ました。小さなルリ子も涙の中からそれを見ましたが、何にも言ひませんでした。其の男の兒は學校での模範生で、規則を破つたことは今までありませんでした。

もう半分間しかないので、其の無作法な男の兒は、向き直つて又大きな聲で、先生に聽えよがしに「美郎君、君は鞭で打たれたまへ」と言ひました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「英夫さん、あなた、お立ちなさい」と先生は嚴しく言ひました。無作法な男の兒は直ぐ立ち上つたので、小さなルリ子は泣きながら自分の席に戻りました。恰度その時鐘が鳴つて、學校は退けました。

生徒一同が歸つた後で、先生は長い棒の木の棒を持つて來て、「英夫さん、私の言つた通りに、あなたは鞭で打たれねばならぬのですが、どうしてこそ〳〵話しをしたのですか、何か譯があるでせう」と問ねました。

「私は小さなルリ子を救けたかつたからです」と無作法な男の兒が言ひました。「あの女の子が罰せられるのを見るに忍びませんから」

「英夫さん、よろしい、お歸りなさい」と先生が言ひました。

弱い者を救けて、自分が其の身代りになつた英夫は偉い子供ですね。

子供の智慧

子供の同情心

私が今日鷄をつぶして、骨と肉とを離して居りますと、子供は側で見てゐて「あゝ可愛さうに、いたいでせうね」と言ひました。大人はそれを笑つて聞くほど、無神經になつて居ります。（かよ）

早くそのあとを

「むかし〳〵三代將軍家光の御家來に、松平信綱といふ人があつて」と話し出しますと、子供は、「そんなに大事にしないで、早くあとを話して頂戴」（ＲＹ）

ゴミトリ見たい

常ちやんは飛行機の飛んでゐるのを見て手を叩いて喜んでゐましたが、やがて父さんの側に來て、「父さん、飛行機はゴミトリ見たいね」（もり）

金柑の家

松宮千以子

今日は可愛いお話を聞いた。

私が幼なかつた頃、小母さんのお内のことを金柑の家と言つて居りました、何故だつたのでせう、柚の木はおありですけれど、金柑の木はあの頃にだつて御座いませんでしたでせう、私はよく父に何故柚の家とはいはないのかつて聞き聞きしましてよ。

かう言つて尋ねた私に、お百姓の小母さんは、緩くりと叮嚀だけれども土地の言葉で、自分がお嫁に來た時には黄色い眞圓い果實が澤山になる金柑の木があつたのだと話してくれた。傍に居た若い嫁達は、この小娘のやうな私の問を面白がつて笑つたが、七十近い老婆さんが臺所から聲をかけて、「覺えてお出でなはるだつしやろか」とほんとに人の好ささうに遠慮勝ちに聞いた。

それは私が四歳ばかりの頃の事であつた。

私の家の裏に杉の生垣に北風を避けて上に葡萄を這はせ、石垣に杜鵑花を挿した池があつた。六月の頃にもなれば緑の葉を見せぬばかりに、眞紅な花が一杯咲いた。幼い私達は細長い竿を持つた草の葉を結んで、花瓣を遣らうと一生懸命にその花を採り集めた。大事な仕事でゞもあるやうに。

或る日も土手の上から俯ぶして、下の方の大きな花に手を伸したなりに、私は池に落ちて終つた。此の時老婆さんの孫の茂ちやんが泣いて叫んだので、道行く人も村中の人も飛んで來て私を救つてくれたのだつた。水から上げられた時は早や冷めたくなつて、息の根も絶えて居た。絶望した若い母が堅く抱いて泣いたさうだ。その私が奇蹟のやうに蘇へつたのだ。それを老婆さんが今、覺えゐてるかどうかと私に聞いたのだつた。

私は殆んど何も覺えては居なかつたが、此の老婆さんの孫で茂ちやんの母様が「茂ちやんは偉らかつた」と言つてこの幼い日の出來事を何度も話してくれたので、私は自分が沈んだ時、水面に浮いて來た泡を見たと、隨分大きくなる迄信じてゐた。

四歳の女の子と五歳の男の子が、二人で毎日花瓣をこさへた此の物語を、私は母の口からは一度も聞くことは出來なかつたのだ。

おかあさまは美しい賢いお方だつた、機がお上手で裁縫やお細工物がよく出來て、と老婆さんは話し續けたが「惜しい手を貰ふことも出來ず、死ぬといふことは詮無いものですぞなあんた」と小母さんは緩くりと言つて默つて終つた。

私は月の世界でゞも聞いて來たお話のやうに聞いた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

奴隷（其八）

松本雲舟

十一

政雄は敏子の宿つてゐる其の親戚の家の前まで行つたが、どうしても其門の格子を開ける氣にならなかつた。閾が高くなつたとでもいはうか、自分と敏子との間には深い溝が掘られたやうに感ずるのであつた。政雄は今其の門を通り過ぎて、一町ばかり行き越して、

「どうしやうか」と想つた。

「行かう、心に疚しい處はないのだから」と又戻つて來たが、さて其の格子を開ける勇氣はないのであつた。

政雄は敏子の住んでゐる二階を見上げた。其所には敏子のほかに、誰かゐるやうな氣がした。さう想ふと同時に、むら〳〵と憎惡の念が起つて來た。

「馬鹿〳〵しい止めやう」と政雄は急ぎ足に門の側を立ち去つた。

「愛は相對的だ、一人舞臺は打てない」と政雄は此時直覺的に感じた。

政雄は無我夢中で歩いて、又自分の家に引返して、机の前に蹲まつて、息をせい〳〵しながら、書物を讀み出した。勿論何が書いてあるのか解らう筈がない。心には敏子の二階の障子が映つた。其處には誰か敏子の外に人のゐるやうな氣合がした。

「おれは僞善者の眞似をした」と政雄はがわと机の前に飛び上つた。「おれはこれほど自分の感情を殺してどうするつもりだらう」と持つて生れた自我の情はむく〳〵と謀叛を企てた。

「おれはあんな女の奴隷であつた」と想ふと、耻しいやうな念が湧いて來た。

「人に善をなすのはよいが、奴隷ではいけない。自由獨立の人格者としてゞないと、どんな善をなしても、其の善が活きて來ない。他人を人格者として取扱ふ前に、自分が人格者として立たねばならぬ。他人を手段として取扱はざることは勿論必要だが其の前に、自分を手段として提供することはいけない」

恁ういふやうな思想が、政雄の心に泉のやうに湧いて來た。

政雄は早速原稿紙に筆を執つて認める。

「敏子さん、私は今日限り、あなたと絶交します。絶交したならば、私は自主獨立の人格者としてあなたを見ることが出來るし、又あなたも同様に私を見ることが出來ると思ふからです。私共が今までのやうな交際をしてゐては、到底眞の理解をすることが出來ぬと思ひます。あなたに私といふ者が充分に呑み込めなかつたのも、私があまりにあなたの手段になり過ぎてゐたからです。私な最早あなたの奴隷ではない。あなたが尊敬と禮儀を持つてしなければ、一寸でも動かすことの出來ぬ人格者です。愛は人格者と人格者との間の相互の關係だと思ひます。決して主人と奴隷との關係ではない。私共は絶交して、終世御目にかゝらないでも差支へない。唯私があなたを眞に理解し、又あなたが私に對して眞の理解が出來るならば、それで澤山です。

「あなたの御結婚に就ては、あなた自身處置なさい。私はそれに對して彼是といふ權利も義務も持たない。

「では、左様なら。あなたの御健康と幸福とを祈ります」

政雄は筆早やに恁う書いて、早速それを自身郵便箱に投じて來たが、其の時彼は自分の奴隷根性を墓に埋めたやうに想つた。

「萬事はこれで解決した。私の生涯のエピソードとして恁ういふ事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のあつたのも、美はしい記念だらうと政雄は又机の前に蹲つた。

十二

二日して敏子から返事が來た。政雄は封筒を引むしるやうにして、中を披いた。

『御手紙の趣　確に承知仕候、さやう御悟りあそばされてこそ、あなたは立派なる御人格者と尊敬仕候、私は多分田舍へ歸りし上にて式を擧ぐるならんと存候、かしこ」

政雄は讀むなり、其の手紙をまるめて、庭へ投げた。すると其の手紙は山茶花の枝に引つ懸つた。政雄は庭へ下りて行つて、枝から手紙を取つて、下駄で踏み着けた其の顏には寂しい笑が浮んでゐた。（終）

小說豫告

シエンキ井ツチ作
Quo Vadis?
（何處へゆく）

松本雲舟譯

私が「クオヷヂス」を初めて譯した時からもう十年立ちました。今年其の一部分を改譯して縮刷して見ましたが、さても其儘にしてはおけない。其故來年正月の元日號から、本誌へ一頁（三千六百字）以上毎號連載して、約二ケ年を費して全部を全く改譯したいと思ひます。英獨の譯書を對照して、私の力ではこれ以上のものは出來ぬと信ずるほどの飜譯をして見たいと想ひますから、長い道中で、讀者さんはさぞ御疲れでせうが、何卒辛捧して御讀下さい。

雲舟申す

ナターさん（下）

阪東みちえ

二

ある初夏の夕方であつた。物干臺の上に私が一人默つて立つて居たら、いつの間にかナターさんも出て來て何も云はずに空を眺めて居た。空は薄淺黄色に冴え渡つて靜に沈んだ夕日の餘光が一面にたゞよふて居た。靜に立つて居たナターさんは「ゝあ私、星を見つけた明星！」と云ひ出した。私はその方角を一心にさがした。一樣に薄い光におほはれて居る大空の中に輝く淡い星の光は一寸識別しがたいものであつた。その中ナターさんは「あ、そこにも、あ、あそこにも私は三つ見つけた」と云つて私の感のわるいのを可笑しさうに見て居た。私がどうしても見つからないと云ふものだから「それ、あれぢやありませんか」と云つて白い指を出して敎へた。私はやつと夜と晝との界にきらめく微かな光を認める事が出來た。

「何か歌つて聞かせて下さい」と私が賴むのでナターさんは靜な聲で讃美歌を歌ひ出した。此人は音樂にも天分を持つて居るのださうで特にピヤノに堪能である。美しい空の下で美しい人の歌ふ美しい歌は天の底まで聞えるに違ひないやうな氣がした。私は何もかも忘れて耳を傾けた。その中頭の上では星の數がだん／＼殖えて來た。「あれがオライオン」「あれがドラゴン」と、種々の星の名を敎はつた。オライオンといふのはいくつかの星が集つて、西洋の士が西洋の鎧を着てサーベルを差て突つ立つて居る形になつて居るもので、ドラゴンと云ふのは澤山の星がとぐろを卷いた蛇の形になつて居るものだといふ事を、私は此時始めて覺えたのであつた。そしてその士が毎晩／＼西の方へ歩いて行つて、また東の空から出て來るといふ現象もその時から注意して見るやうになつた。ナターさんは「あなたは天體を不思議に思ひますか」と私の顏をのぞき込んだ。私が星の說明を聞いてあまり感心したからであらう。「隨分不思議なものと思ひます」と云つたら「そんなら此不思議なものが一つの狂ひもなしに靜に運行して居る仕掛を一層不思議とは思ひませんか」「思ひます」「その仕掛けは自分自身に支へて居るものでせうか。或はそのからくりを握つて居る大きなものがあるのでせうか」と云はれるから、私はわかりませんと答へるより外仕方がなかつた。

三

「私は神樣が凡てを司つて居らるゝ事と信じて居るから、不思議でも何でもありません」と云つて、靜な目を高い天の方に向けた。「あなたにわからないと云はれるのが私は一番悲しい。お友達は兩方の信じる神樣によつて、つながれなければならないのですもの……」と云つて、ナターさんはまるい大きな目を曇らせてわきをむいてしまつた。私は答へるすべを知らなかつた。たゞ悲しくなつて來た、なぜ此のやさしい人がこれま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で近しくなつた私が人間の一人として取扱つてくれないのだらう、此の人の信じるといふ神によつて作られた人間の一人として私を見てくれる事が出來ないのであらう！自分の信ずる神を一所に拜しなければ友だちになれないといふのはあんまり胸が狭いのではないかと思つた。そしてその神樣を信じて居ると公言して居る人が隨分神樣が眉をひそめられはせぬかと思はれるやうな事を平氣で云つたり仕たり思つたりして居るのもあるのではなからうか、それに此の人がたゞ一向きに神を信じないものを異端視せらるゝのが、私には理解する事が出來なかつた。そしてお友達になれないと云はれるのが不平ではない、一途に悲しいのであつた。そして淋しい心地がした。こんなにお互に腹の底まで善いと信じて居るのに、此友情の妨げをなさる神樣が私は恨めしかつた。

神によつてあんなに濟が〳〵しい氣分になれるものなら、私も信者になつてもよいと考へて、いろ〳〵宗教の話をナターさんに聞いて見た。聞いて居る間は醉い詩を聞かせられるやうに胸がどき〳〵するほど嬉しいのだけれど、そのまゝを信ずる事は、私には到底むづかしい事であつた。云はれる通りを信じられたらどんなに幸福であらう！最上至高の神の姿を彷彿するだけでもどれほどの悦びであらうと考へるだけで、それより先きへは一歩も近よる事が出來なかつた。そしてナターさんとは、此わけで遠く相去つてしまはなければならぬのかと考へて、自分の悟りのひらけぬのが、もどかしいよりも、その力が悲しいものに思はれた。今にどうかなりませうとおぼつかない事を云つて危つかしい交りをつゞけて居た。

夏の暑い日、私はふと思ひついて、通りに賣つて居た圓い硝子瓶にはいつた金魚を此人に土産に持つて歸つた事があつた。日本へ始めて來た此の人にとつて、金魚は珍らしいもの丶一つであつたので大變に可愛いと云つて手を拍つて喜んだ、泳ぎます！泳ぎます！と云つて小さな魚の泳いでまはるのを見まもつて面白がつて居た。そしていつもしつかりと結んで居る小さな口をぽか〳〵あけてかうして金魚が水を飲んで居るなど丶云つたりした。

四

二三日經つとナターさんは悄れきつた顏をして「あなたの金魚が死にました」と云つて來た、友だちにでも別れるやうに暗い顏であつた「それではお葬式にしませう」と云つて香水のはいつて居た箱の中に白薔薇の花を一ぱいにつめてその中へ金魚を入れて庭の隅に埋めて金魚の墓と書いた小さな墓標を建てた、そして二人して線香を供へた時、ナターさんは「さようなら」と云つて金魚に暇乞ひをして居た。

ナターさんが病氣をして病院にはいつて居た時、私は此人の好きな白い百合の花を以て見舞に行つた。五分間ほど應接間に待たせられてから、私は看護婦のあとについてナターさんの病室にはいつた病室には明るい硝子窓があつた。兩側に大きな鏡がかけてあつて、此前に見舞に來た人がもつて來たいろ〳〵の花が一ぱいに挿してあつた。その花の直ぐ下にナターさんが椅子にかけて居た。日本人に近いやうな黒い髪は兩方に分けて三つ組みに組んで兩わきに下げて居た。お納戸地に大きな撫子を白で染めぬいた日本の浴衣を、大きな袖にして身にあふやうに仕立てたのを着て例のやうににこ〳〵と私を迎へてくれた。私はぼんやりと入口に立ち止まつて居た。ナターさんがあんまり奇麗に見えたからであらうと思ふ、病氣の爲めに少し面やつれがして、常よりも高く見える鼻筋と、額のあたりが雪のやうに白くて、紅色の頬がほんのりと薄紅をかけて見るやうであつた。目はふだんよりもまるく大きかつた。そしてナターさんのからだ全體が上に飾られた花の中に埋もれて居るやうに見えた、私はこんな美しい人間の光景を見たのは生れてから始めてゞあつた。此世の人にしてはあんまり美し過ぎると思つた。私がこんなに感心して眺めて居るのも知らないで、ナターさんは「どうぞこちらへ」と無造作に自分の前の椅子を指した、私は此有樣を大事に覺えて居やうと思つた。そしていつまでも此の美しい繪の色が薄れないやうに希ふて居る。

五

病氣は盲腸炎であつた。苦痛のはげしい時でも、痛いとも苦しいとも一言も訴へた事がなかつたと掛りの醫者が感心して居られた。手

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

術が終つて、魔睡劑から醒めた時最初に此の人の唇をもれたのは「有難う！」と云ふ感謝の詞であつたさうである。ナターさんのお父樣は病氣の報を聞くと直に見舞の爲めに日本に向けて出發せられた。そして懸念に堪へないからといふのでナターさんはとう〳〵お父樣がつれてかへられる事になつた。

つひ此間の手紙にナターさんは結婚をするやうになつたと云つてよこした。「私のお婿樣はクリスト樣お一人！　理想的でせう、わけてほしくはない？」などゝよく戯言のやうに笑つて居たが、クリスト樣の外のどんなお婿樣だらう、クリスト樣ほどでなくても、これに似かよふた人でなくてはなるまい。約束の出來たのは此の正月であつたと知らせてある。六つ年上の人なさうな、倫敦の大商人の息子で、やつぱり物好きから日本へ傳道に來て居たのが、肩やすめに歸國して居たのださうである。人格も風采もナターさんの配偶として恥しくないのだと聞いてやつと安心した。私は始めて人間の愛情といふものゝ尊さを知つたと書いてあつた。そして遠からず式をすまして、また二人づれで日本へ來て元の仕事に取りかゝる時、此の結婚の意味は完成せらるゝのであると云ふのであつた。

此の報らせを受取つた時、私は此配偶者は男の中で最仕合せな男だと思つた。これほどの人を貰ひあてた幸運をよほど感謝しなければなるまいと思つた。そしてナターさんが夫婦づれで早く橫濱へつけばよいと思ふやうになつた。

時事

◉**米大統領結婚式**　既報の如く米國大統領ウィルソン氏（五十九）は愈々十八日夜八時半四十三歳のガルト夫人と同夫人邸にて結婚式を擧げたり式は極めて質素に行はれ近親及親交ある友人等併せて三十餘名に過ぎざりし。

◉**英首相夫人新聞社を訴ふ**　十七日倫敦發電に曰く「アスクイス夫人はグローブ新聞に對し誹毀の訴訟を提起せり夫人が獨逸の俘虜と交際せるは英國に對し忠誠の念を缺けるものなりとグローブ紙が攻擊したるに由る」

◉**沙翁三百年祭準備**　近着倫敦發電に依れば英京劇團社會にては來春四月沙翁の三百年祭擧行の準備中なりと我劇壇にても大々的記念興行を催す計畫ありと云ふ。

◉**遣英救護班の譽れ**　十五日倫敦發電に曰く「英國皇帝皇后兩陛下はバッキンガム宮殿に於て日本赤十字救護班員四名を引見して最も懇篤なる挨拶あり種々赤十字事業に關し談話され鈴木次郎及鹽島常彌兩ドクトルにマイケル●エンド●ヂョージ勳章を山本繁子及濟岡の兩看護婦に第一級ローヤル赤十字章を授與されたり」と

◉**倫敦市長の晩餐會**　倫敦市長は一月早々出發せんとする日本赤十字社一行の爲めに午餐會を開けりと倫敦發電は報せり。

◉**大典最後の夜宴**　十六日夜九時より、石井外相主催の大夜宴は霞關離宮にて最も盛大に催されたり來賓二千六百、歡語滿つ

◉**花の日の寄附金**　御大典に際し行はれたる花の日會の決算報告に依れば十一月九、十及び十二月九日の三日分の收入總額は、御下賜金二百圓、十二宮家御寄附金三百圓を併せて二萬二千百十八圓餘で內諸雜費を差引くと純益金一萬五千四百廿九圓餘となり、豫定額より數千圓餘計に收入がありしが各團體に交附する由

◉**旗の日の利益**　御大典に際し全國に行はれたる旗の日會の利益は諸雜費を引去り家庭製作品展覽會の基金として金五千七十二圓五十錢を得たりと、尙地方〳〵にて旗を賣りたる利益は夫々慈善救濟事業に寄附さるべしと

◉**花井副議長辭任**　花井衆議院副議長花井卓藏博士は內閣彈劾決議案に白票を投じたるが十九日副議長を辭任せり

◉**市電車値上案**　東京市は廿一日開會の市參事會に電車料金値上案を呈出せり其前途は刮目して見るべし

◉**泡鳴氏又敗訴**　先日妻淸子に敗訴した岩野泡鳴氏は是より先早大敎授太陽主幹法學博士浮田和民氏を相手取り名譽毀損を訴へたるが廿日訴訟の理由なしとて却下する旨判決言渡され又々敗訴となれり

◉**平木白星氏逝く**　詩人にして駒込郵便局長たりし平木照雄氏急性肺炎にて今月二十日逝去せられたり。享年四十歲

◉**今年の犯罪**　本年は御大典景氣にて東京府下の犯罪は一般に少かりしと因に窃盜は昨年の二六四三件に對し本年は二〇四六件、掏摸は昨年の三八件に對し本年は三三件にて何れも減少し居れりと

◉**勳記褫奪者二千餘名**　大正三年度の勳章褫奪者は二千二百四十七人の多數に達したり其原因たる犯罪の主なる者は强窃盜の四百十九人賭博の三百五十二人並に詐欺脅迫三百名等なりと、

女學校だより

▲**女子英學塾**　二十三日終業式後クリスマスを行ふ由。尙ほ來學期よりは補缺生の募集をなす。

▲**成女高等女學校・**　二十四日終業式後この花會を催す。

▲**女子學院**　二十二日終業式、二十四日にクリスマスを催す。

▲**跡見高等女學校**　二十二日終業式一月八日より新學期開始、來春第三或は第四の日曜日を以て卒會の主催になる新年會を催す。

▲**三輪田高等女學校**　二十五日より冬期休暇に入る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人消息

△廣岡淺子　十八日上京廿三日歸阪せられたり。

△杉本鉞子　婦人矯風會青年部長なる同姉は、來年早々一令孃と共に永住の積りにて渡米の筈。

△佐波澄江子　植村正久氏の令孃なる同夫人は廿日女子を出產せられたり。

△瓜生繁子　小田原に在住の大將夫人瓜生繁子女史は、旗の日報告會出席の爲め十八日上京即日歸宅せられたり。

慰安錄

精神上生活上種々御煩悶のある方は何卒御投稿下さい、御力添へになりたいと存じます。

二人の男に對して

私は本誌の小說「奴隷」の女主人公のやうに、二人の男に心が引かれてゐますので、非常に苦しんで居ります。其故「奴隷」も大變面白く拜見しましたやうな次第です。

私は數年前法科大學の方と約婚しましたのですが、其方は無口なので、其の心が能く呑みこめず、どうも充分の滿足が出來ませんでした所へ、高等商業の卒業の方で私に大變親切にして下さる人が出來ました。其の人は非常に才子で私のかゆい所へ手の屆くやうに、私の機嫌を取つて下さいます。私の嗜好から言へば、自然其の人の方へ心が傾きますのですが、さうかといつて、私の約婚した方を棄てたくもございません。二人の男にかういふ交際をしてゐますので、考へて見ると怖ろしいやうな感じがして參ります。勿論二人の方は互に知らないのです。かういふ場合にどう處置したら一番宜しいでせうか。記者樣の御意見を聽せて下さい。（きみ子）

▲さういふ破目に陷つたのは、あなたの浮薄な心柄だと思ひます。あなたが約婚ある身でありながら、又他の男とさういふ親しい交際を初めたのが既に間違つてゐます。其故第二の男に對して、自分には約婚者のある事實を明かにして、なるべく疎遠にするやうになさいまし。御手紙の樣子では、どうも其の第二の男よりも、第一の男の方が人格が立派のやうに思はれますので、あなたは全心を以て其の人を愛すべきであります。其の人が充分呑み込めないのは、其の人が惡いのではなく、あなたの精神に足らぬ所があればこそです。又さういふ二心は第二の男に對しても大なる罪惡と申さねばなりません。其故此際斷然たる處置をおとりなさい。二人の男に愛を求めるやうな娼婦的な態度はあなたの心を墮落させるばかりだと存じます。（記者）

婦人の聲

暖簾と腕押し

私は諸方を巡回傳道して歩いて女達に話す位、骨の折れることはありません。それは暖簾と腕押しをするやうに、尠しも手ごたへがないからです。油汗が出るほどに熱心に說いても、うんでもなければ、すうでもない。唯頭を下げて眼を細くしてゐるばかりです。これが西洋の婦人なら、頭を上げて演說者の顏を見、身體を乘り出して聽くのですが、日本婦人の齒がゆい事と言つたらありません。こんな事では、幾年立つても進みこはないと思ひます。贊成でも反對でも、どし〳〵するやうな元氣は日本婦人には、出ないものでせうか。（淺子）

道後溫泉の女三助

私の鄉里は道後の溫泉に近いので、能く入湯に參りますが、同溫泉では、ながしは皆女が致して居ります。皆そろいの制服を着てゐて、親切にながしてくれ、子供の面倒まで見てくれますので、非常に都合がよろしうございます。其故東京に來て、男の三助が平氣で女の湯に出入するのを見て、私は初は大變驚いた次第であります。（すま子）

將校と兵卒

先日滿員の電車に、兵士が澤山乘つてゐました。其中に一人の少佐が居りましたが、兵士に向ひ、「君達の聯隊に何誰といふ者が居るか」と問ねました。兵士の一人は、「居りますが、茲には居らぬやうです」と四方を見廻はすと、其の聲を聽きつけて、車掌臺から「茲に居ります」と一人の兵卒が顏を出しました。すると少佐は「うん居つたか、奇遇ぢやな」といかにも嬉しさうに大きな聲を出しました。兵卒は少佐の側へ近よらうとしても、滿員で近よれません。其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

故少佐と兵卒は大きな聲で人を隔てゝ話してゐました。互に其宿所を言ひ合ひましたが、少佐は又しても「奇遇ぢやな」と繰返しました。やがて電車は青山一丁目に來たので、少佐は其處で乘換へやうとしたが「うん、もつと行かう」と乘越して、尙兵卒と話しつゞけました。二人は青山六丁目で降りましたが、少佐は兵卒と握手しやうと手を差し出しましたが、兵卒は堅くなつて手を出さぬのを、無理に握手して、又しても「奇遇ぢやな」と少佐は言ひました。其狀がいかにも等級の差別をつけずに、平民的なのに、私は見てゐて大に感心致しました。（うさ子）

新刊紹介

●基督教十講（宮川經輝著）

基督教十講といふと何か六ケ敷い神學上の議論でもしてあるやうに思ふが、此書は寧ろ基督教講話とでも名づけた方が善いほどに、極めて通俗に宮川氏の體得された基督教の大體を講演されたものである。其處に本書の價値があるやうに思はれるので、基督教を初めて研究する者には最も適當な參考書であらう。第一講の「基督教渡來史」に於て天主教が初めて日本に渡來した頃のことを述べてゐられるのは、目先が變つた善い思ひつきである。日本の新教徒が豐臣德川時代の天主教徒と自分達が全く違つてゐるやうに思ふのは惡い癖である。昔の天主教徒の方が今の新教徒よりも、確に信仰が熱心であつた。迫害に堪ふる力を持つてゐた。宮川氏が基督教講話をなさるのに、天主教の渡來から初められたのは、新教徒の斯る癖を打破する上に、大に力があると思ふ（定價壹圓、小石川區櫻木町北文館發行）

●岡田式靜座三年（岸本能武太著）

過去三年に於ける靜座の經驗を感想とを記されたものである。著者曰く「入門の當時、予の身體は如何に衰れなる狀態なりしか、その身體が如何に變化して今日の如く健康體となりしか、予の精神狀態は如何に變化したか、宇宙に對し肉體に對し、人生に對する予の感情や思想が、如何に發展したか」本書を繙けばそれが解るわけである。又曰く「靜座の形式は極めて簡單で、何人も自力で之を實行することが出來る。老人にも出來れば小供にも出來る、男子にも出來れば女子にも出來る。器械も入らねば金錢も入らない。何處でも出來るし、何時でも出來る」と。靜座をやつて心身の練磨を志す者には絕好の參考書であらう。（定價金壹圓京橋區銀座大日本圖書株式會社）

編輯室より

▲愈々今年も餘日がなくなりました。皆樣には樂しいクリスマスや、榮ある新年を迎へらるゝ準備に、おいそがしい事と存じます。山手の街々にも暮の影が、慌しく訪れて來て同人等は元日號の準備や新春から發展の計畫に忙殺されて居ります。▲暮のおいそがしい中に、愛讀者の方々から新しい讀者御紹介の御音信に接する事が大變多くなりました。或愛讀者から其方の御友人に品物を贈られる代りとして本誌半年分の前金を拂込まれ本誌をクリスマスプレセントとして其御友人に贈る事にしたいと申込まれましたには、殊の外嬉しく思はれました。▲女湯改良の主張は非常によい反響を齎らしたやうです記者がお訪ねする人毎に此問題の話が出ない事はありません。本誌は今後も益々社會の各方面に渡つて改良すべき問題を呈出して行きます。それにしても愛讀者諸姉の力強い御後援を希はなければなりませぬ。今や大正四年を送るに當り皆樣の御健康と御幸運とを祈ります。

社告

購讀者諸君へ

購讀料をまだ御拂ひ込みにならぬ方は、どうぞ御願ひいたします振替は東京三一六六〇番ですから之れを御使用下された方が御便利です。振替御使用の時には、取扱料として一錢餘分に御拂込み下さい。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外、午後零時より、午後四時迄です。

顧問
衆議院議員文學士 小山東助
辯護士法學士 杉山賢三
法學士 高田愼吾
婦人週報主幹 小橋三四子

主任（前讀賣新聞身の上相談部主任）松本雲舟

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社內
人事相談所
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■最近の發明品■

◎姿を美しくする帶上げ止め 定價三十錢ヨリ

生れつき姿の惡るい方でも帶を上手にしめると見違へる樣に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の樣で中々六ケ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に後ろ姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く脊負ひ上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肩、脊中、帶の調和が誠によく姿がそり「見えます、又衞生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸(即ち胸式呼吸)を完全に營む事が出來ますつまり內臟(肺、心臟、胃等)の機能を十分に行ふ事が出來る理けであります、故に衞生上極めて理想的の品であります。(時節柄「クリスマス」及年末の贈物には新らしい氣のきいた品であります)

■販賣店■
三越呉服店
白木屋呉服店
松屋呉服店
松坂屋呉服店
大西白牡丹
小間物問屋 万新商店
同 富士喜商店
本社代理部店

クリーニング

ドライクリーニングとは一滴の水をも用ひずして毛織仕立物は勿論和服は絹布其他綿入れのまゝ如何なる汚れも美麗に殆んど新調同樣にするのであります。

特長 一地質を損せぬ事二變色伸縮せぬ事三型が少しも崩れぬ事四殺菌消毒の効力ある事五如何なる汚れも綺麗になる事六光澤を一層大ならしむる事

染色 佛國式の染方を致しますから堅牢優美に保險付の染色でありますゆゑ如何に變色したる御品も殆んど新調同樣になりますから御試しを願ひます

特色 最近輸入の機械と最新の學理と卓越せる技術を以て親切丁寧に御約束を違はず迅速に御取扱ひ申候

婦人洋服、同白地及ポンジー、スカート、同ドレス、同ポンジー、夜會服、ブラウス、帽子駝鳥毛、ボーア、マッフ、スカーフ、ショール毛皮襟卷、白皮及絹靴下、吾妻コート、御召コート、白無垢、御召綿入、同袷、同單衣、帶、縮緬腰卷、同袖、半襟、洋傘

◎此外如何なる御品でもクリーニング並に染色が出來ます

和洋服 羽毛皮 敷物窓掛 クリーニング(無水淸淨) 染色 ズレッシング(洋服皺伸シ)

各國大公使館御用帝國ホテル御用

日比谷 クリーニング商會

本店東京日比谷公園停留場際(電新三一〇八番)

支店 東京赤坂區田町五ノ八 横濱市元町一丁目(谷戸坂) 大連伊勢町十六(電話九五二二番)

(御一報次第參上御用相達可申候)

院長診察月、水、木、林、峰間兩副長は
麴町區三番町三十番
電、番六二番 東
院長 醫學士
電話ちがさき二番
相州茅ヶ崎海濱(
河野、高橋兩副長
院長診察土曜日

あかくはれ、くづれて、
しもやけの藥
毎年の大好評故是非御
藥價金拾
(參錢郵券四枚封入
小石川
製造發賣

實利主義の歳末
最も適當なる
製造の
三十番ミシ
定價十一圓
御購買後も他のミシ
種類及定價
方は婦人
申込を乞ふ
婦人

金午前
目下當院に在勤
地(市ケ見附内)
洋内科醫院
高田畊安
南湖院
從停車塲半里)

は目下當院に在勤
午後、入院診察後應需

いたむのがすぐなほる
陸軍常用
石樟膏
試しあれ
錢　定料金貳錢
申込あれば直ちに發送)
區高田老松町十七番地
目白藥局
振替東京三一六九二

贈答品!!
シンガミシン會社
(俗稱ブタミシン)
特價七圓五十錢也
ン◯御交換致します。
表の目録御望み
週報社へ直接御
週報社代理部

護謨製氷枕
左の特價で御取次をします
品は御請合致します。
大の處四十五錢　特價參拾五錢　送料貳錢
小の處四十錢　特價參拾錢　送料貳錢
婦人週報社代理部

クリスマスを祝す
麴町區飯田町五丁目五番地
大關看護婦會
會長　大關チカ

腦神經精神病
東京赤坂(帝國腦病院改)
青山腦病院
院長ドクトル 齋藤紀一
電話芝 二七四四、五六六五、六二二七、

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
吉野眼科院
小石川區高田豐川町
(女子大學校前)

產婦人科
小兒科
東京府内藤新宿
番衆町卅一番地
女醫 井出茂代
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル 富田貞一
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
(久松町停留塲より西一丁)

入院應求
院長ドクトル 淺田繁太郎
淺田小兒科醫院
芝區田村町十六
(電話芝三二一七番)

◎產婦人科
◎小兒科
宅診 午前 往診 午後
病室、產室ノ設ケアリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正四年十二月二十四日發行

本紙定價 一部金四錢五厘（郵送料共） 半年（廿六部）前金壹圓
▲三月（十三部）前金
▲一年（五十二部）

婦人之友

處女と貞女

▲西洋の處女崇拜 文學博士 三宅雪嶺
▲東洋は貞女中心
▲婦人と貞操問題
▲常盤は貞女か

女の強さ（女性は弱者なりとの思想を排して婦人の價値の絶對を主張す卷頭十數頁の大文字）羽仁もと子

どちらが貴婦人か 法學博士 山脇玄

長篇小說 朝の歌（新年號より連載）佐藤紅綠

姿優しく心清き佳人あり、妙齡に達して縁談數ある中に常に一攫萬金を夢みて蹉跎失敗の半生を送り來れる父親は之を利用して金權に接近せんとす、佳人、果して甘んじて父親の犧牲となるか、これより漸く波瀾重疊、人情世態の機微に入らんとす、興味と教訓に充ち滿ちたる紅綠氏苦心の大作。

新年大附錄 時間から見た一家五人の生活（石版極彩色刷）

數年間の歲月と多大の費用を投じて成れる精密なる研究の結果を發表す一家の食事、裁縫、洗濯、掃除等に何程の時間がいるか、子供の世話に何程の時間がいるか、主人の身の廻りに費す所の時間幾許、一家の主婦が是等の雜用を果して殘れる時間幾許凡て彩色の圖を以て現はし、一目瞭然

懸賞募集 模範的婦人用語

毎號適切なる問題を提出して之に對する簡明にして情味豐かなる新用語を募集す賞金 一用語に付き ▲一等二圓（各數）▲二等一圓（十人）

毎號掲載 人様々の煩悶

眞劍な身の上相談、記者の解答人情の委曲を盡し情理兼ねいたる、大評判の記事

實際的の讀物 本誌の一大特色也

●斯うして赤坊に乳をやる●着物を恰好よく着るのには
●幾らあつても足らない家計●廉くて美味しい牛肉の買方
●住宅建築に參考となる事●重箱で出來る納豆の製法…
●日暮里名物安八百屋の話●新年客受の用意いろいろ…
●お辨當持參で知人を訪問●手輕に出來る蒸鮨の拵へ方

特別附錄

新式早縫の秘傳 志摩野司
素人に出來る造花の仕方

新年號出來

定價一冊拾八錢 郵税二錢 半年郵税共一圓十五錢

賣捌全國書店

東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京一一六〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學博士 坪内逍遥先生新譯

醒めたる女

新らしき女の典範!!
附錄「現代男」・・・
飜譯文學の精華!!

博士曰くノラやマグダは未だ眞の新しき女に非ず、理想的の新しい女、眞の覺醒せる女とは、本篇の女主人公をいふ也と、博士が得意の擅上絢爛花と燃ゆる靈筆に依つて描き出されたる「醒めたる女」の活躍振や果して如何……これぞ英國文豪ハンキンが不朽の原作……藝術味充溢す

▽總クロース綴▽
▽洋裝極美▽
▽四六判全一冊▽
▽定價金一圓▽
▽送料金八錢▽

和洋裁縫研究會長 松江みさ子先生著

子供西洋服の拵へかた

□子供西洋服は「衛生にて經濟よく可愛らしく」

▼洋裝菊判美本▲
▼定價一圓二十錢▲
▼送料金八錢▲

お目出度い初春!!
お子供衆には是非共
西洋服をお着せ下さい!!

□本書は日本の兒供に適當なる西洋服の形三十餘種を選び、形紙の切り方、切地の裁方縫方の順序など說明、手に取る如く急所々々には一々精密なる圖解を施したれば一讀して愛らしき西洋服が拵へられます。

□ 東京市京橋南槇町十八 廣文堂 電話京橋二四六三 振替東京四六八四 □

松本雲舟譯 改譯縮刷第三版

クオヴァヂス 改譯縮刷

何處へ行く

▼總クロース箱入天金 定價金壹圓拾錢 郵稅金八錢▲

波蘭文豪の世界的名著「クオヴヂス」の譯者として松本氏の名聲高し

本書世に出でゝ既に九年、尚多くの愛讀者を有するは原著者の結構頗る雄大にして**强烈なる魅力**を有するに依ると雖も雲舟氏の靈筆能く之を活譯せずんば焉んぞ如斯を得んや。今や玆に讀者の便を謀り**縮刷を出版**するに先んじ、雲舟氏は苦心を以て本書の改譯增補に當られたるが故に、面目更に**一層の光彩**を添ゆるに至りぬ百合の如く清きリジアと熱誠なるヴィニチウスの戀を中心として展開せる**壯快悲壯**なる物語の妙味を知らんとする者は本書を求められん事を

發兌 東京市本郷區本富士町二番地 振替口座東京二五二〇〇番 石川文榮堂

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同樣美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし

右之通迅速を旨こし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候 宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地(靈雲寺門前)

井筒屋支店 **中村榮次郎** 電話下谷五六七四

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候

廣告料 一行金四拾錢 一頁金六拾圓 一段拾貳圓 五十四錢 前金貳圓

東京市牛込市谷田町二丁目十七番地 婦人週報社 電話番町四五六六番 振替東京三一六六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA